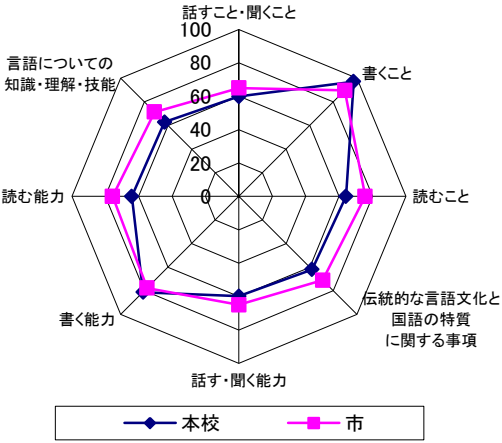


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	59.8	64.9	69.8
	書くこと	97.2	89.8	81.9
	読むこと	64.1	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	61.9	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	59.8	64.9	69.8
	書く能力	81.1	77.7	73.7
	読む能力	64.1	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	63.0	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、他の領域より低い。 ○話合いの内容を聞きとる設問の平均正答率は、95. 5%でだいたいできている。 ●司会者の役割を理解して、計画的に話し合う設問の平均正答率が6. 8%であった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの 今後の指導の重点 ・話す・聞くの学習の際に、司会者の役割を確認したり、より多くの児童に司会の役割を経験させたりして、司会者の役割を、具体的な言葉を指導しながら体験的に理解できるようにする。
書くこと	平均正答率は、市の平均よりも7. 4ポイント上回った。 ○指定された長さで文章を書くこと、自分の意見とその理由を区別して書くことは、全員できていた。 ●2段落形式の書き方もほぼ全員できたが、指導が必要な児童もいた。	・制限された字数で書くことや内容についての指定を意識して書くことはできるようになってきたが、段落の構成についての指導を改めて行っていく。
読むこと	平均正答率は、市の平均を11. 5ポイント下回った。 ○説明文では、段落相互の関係を読み取る設問の正答率は、市の平均を上回った。 ●物語の読み取りの設問の正答率は、市の平均を下回った。	・物語文では、登場人物の心情と場面の描写を関連付けながら読み取ることを指導するように努めていく。説明文では、読み方のポイントを指導するとともに、文章同士のつながりや段落同士の関係を解説したり指導したりしていく。また、これまで以上に読書活動を奨励していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、市の平均を9. 1ポイント下回った。 ○主語と述語について、尊敬語についての設問の正答率は、市の平均を上回った。 ●漢字の書きについての正答率が低かった。	・漢字をしっかりと覚えられるよう、練習や小テストなどを行い、習熟を図る。敬語については、尊敬語と謙譲語の使い方の違いの理解を図り、日常生活でも実践できるよう支援・指導を行っていく。